

設備力と短納期を武器に 精密切削加工事業を展開

納期
相談
メイト
イン
ジャパン
試作可
小ロット



5軸加工機で複雑形状の加工にも対応

業務内容
最新設備で非鉄金属の
複雑加工に 대응

「ヤマオカ精密」は、太陽光パネルの部品を中心に産業機械部品などの加工を手がける。鉄や非鉄金属、樹脂などの精密切削が得意で、試作や小ロット品の加工をメインとする。いわゆる小規模の「町工場」ながら、充実した設備と短納期を武器に事業を展開。半導体関連や自動車部品関連企業とも取引がある。加工機は新鋭機を含め複数台を保有し、それらを駆使して多面加工や斜め穴加工、複合加工といった切削をすべて自社で行っている。小規模工場では対応が難しい複雑形状や高精度が求められる加工も、迅速・柔軟にこなす実力派のものづくり企業だ。

強み
受注当日の納品にも対応

設備はNC（数値制御）複合旋盤、5軸制御マシニングセンター（MC）、汎用フライス盤などのほか、大型機1台を含めたMC3台を導入している。そして最先端の3次元CAD／CAMシステムを使って加工を行う。町工場で5軸加工機を導入し使いこなしている企業は少なく、この設備でしかできない部品加工に対応できることも強みだ。

早川雄基社長は「品物や短納期品には自信がある」と強調する。それだけに受注当日に納品を求められる注文でも、材料の手配ができるものは可能な限り対応。切削加工だけでなく、受注から数時間で仕上げる場合もある。表面処理を外注に出してなお、即日納品した実績もある。

**高い
対応力**
平均年齢32・5歳
若い力が事業けん引

早川社長と従業員3名の平均年齢は32・5

歳と若く、事業をけん引する大きな力となっている。顧客ニーズへの対応を実践するには、体力が必要となる場面も多いため、若い人材を擁することはこの点で大きなアドバンテージになる。さらには少人数だからこそ、急ぎの注文の際は取引の可否についてその場で判断を下す。受注した場合は、社長も一緒に全員で対応する。納期・スケジュールを共有し、社内一丸で取り組むことにより納期順守を徹底。こうした対応により納期短縮も可能にし、顧客の信頼を獲得している。

**今後の
展望**
IT導入を積極化
情報共有で技術向上も

積極的に製造現場へIT技術を導入し、アナログ管理から脱する仕組みを作る。タブレット端末で図面管理するシステムなどが構築できないかも考えている。取引エリアも、現状の大阪府内中心の受注状況から関東地方や愛知県などへも広げたい意向だ。

近隣にある製造業の若手経営者らとネットワークを作り、情報交換や加工先の相互紹介なども実施。また、引退を考えていた製造業の経営者に工場の空きスペースを無償貸与する代わりに、熟練のノウハウや知恵の指南を受け技術の高度化を図っている。これらの取り組みを継続し、着実な成長へ歩みを進めていく。



複合旋盤備える「設備力」が特徴



加工品のサンプル

当社の歴史



太陽光パネル製造機器向けの部品加工メーカーとして、平成9年に山岡義弘により創業しました。現在は顧客も増え、産業機械関連部品の加工を広く行っています。同社の特徴である若さ、フットワークの軽さ、他の町工場にはない「設備力」を生かして、短納期など顧客ニーズに応えています。

代表取締役 早川 雄基さん

主な事業内容

産業機械関連部品、半導体関連部品、太陽光発電機器関連部品の加工

主な取引先(納入先)

産業機械製造販売会社

- 住 所 〒570-0043
守口市南寺方
東通5-20-3
- TEL 06-6995-3101
- FAX 06-6995-3103
- 創業 平成9年4月
- 設立 平成23年4月
- 資本金 300万円
- 従業員 3名